

町内会事務所は
祝日を除いて月曜日～
金曜日 10時から16
時まで開いています。

町内会だより

3月号

玉川学園町内会
町田市玉川学園2-19-5
Tel/Fax: 042-725-0438
E-mail:t-chounaikai194@bz03.plala.or.jp
http://tamagawagakuen-chonaiikai.net

平成 27 年度定期総会のご案内

平成 27 年度定期総会を 4 月 19 日(日)午後 1 時からさくらんぼホールで開催します

定期総会は、町内会の前年度の事業報告・決算報告、新年度の事業計画案・予算案を審議し、地域の諸問題について話し合う大切な会合です。最高の決議機関でもある総会は 70 名以上の出席者と過半数の賛否で議決することになっています。また、今回は、鎮目会長から体調不全のため会長職を辞任したいとの意向表明がありましたので、それを受けて、会計監査の選出の他に鎮目会長の辞任の承認と新会長の選出という緊急議案が予定されています。会員の皆様には是非ご出席下さいませようをお願いいたします。

総会の議題(予定)

審議事項

- 平成 26 年度 事業報告
決算報告
会計監査報告
- 平成 27 年度 事業計画案
予算案
- 鎮目会長の辞任の承認と新会長の選出
- 平成 27 年度会計監査(2 名)の選出

報告事項

- 玉川学園交通問題協議会経過報告
- 玉川学園コミュニティバス推進委員会経過報告
- 玉川学園地区社会福祉協議会経過報告
- 玉川学園地区まちづくりの会・芝生の会経過報告
- こすもす会館収支報告
- さくらんぼホール収支報告
- 消防団の事業および会計報告

会長および会計監査の 立候補・推薦の方法

- ・会員は誰でも立候補できます。また会員は誰でも他の会員を推薦することができます。(但し、推薦する場合には本人の了解が必要です)
- ・立候補届出は 4 月 13 日(月) 10 時～4 月 17 日(金) 12 時までに町内会事務所前に設置の立候補届け出箱にて受付けます。
- ・用紙は自由ですが住所氏名(ふりがな)を明記してください。推薦の場合は推薦者の氏名もお書きください。
- ・立候補・推薦状況の中間発表は 4 月 15 日(水) 14 時に町内会事務所前に掲示します。
- ・なお、選挙についてご不明の点は、下記選挙世話人にお問い合わせ下さい。

選挙世話人は次の方々です。(敬称略)	第 3 地区 渡辺 道夫 ☎726-5601	第 6 地区 出澤 克久 ☎723-0706
第 1 地区 椎橋 茂 ☎726-5008	第 4 地区 竹下 知道 ☎725-5206	第 7 地区 山下 和泰 ☎727-2931
第 2 地区 浅井 和子 ☎732-8243	第 5 地区 望月 富雄 ☎732-7214	第 8 地区 富澤 康夫 ☎725-9652

消防協力費の取り扱いについて 総務部

玉川学園町内会は、従来、玉川学園地域を担当する町田市消防団第一分団第五部を対象として、会員のみなさまから消防協力費年額 460 円を、町内会費とあわせてお支払いいただいていた。しかし、これについては、なぜ消防協力費を支払わなければならないのか、金額が中途半端で集金しにくい、集金に手間がかかるなどのご意見が町内会に寄せられていました。また、玉川学園町内会が集めている消防協力費は、消防団が自主的に集めるべき協力費を、消防団にかわって町内会が集金しているという性質も持ち合わせています。ですから、集められたお金は町内会の会計に組み入れられることなく、預かり金として別途処理されています。これも町内会事務処理上の大きな負担となっています。この点についても、みなさまにご納得頂けるような理由を見いだすことはできません。そこで、今回、消防協力費の見直しを図り、今後は、従来町内会が集めていた消防協力費の集金を取りやめることといたしました。したがって、来年度以降、会員のみなさまにお支払いいただくのは町内会費 2,000 円のみとなります。

なお、この措置により消防団に対する町内会の支援・協力関係が断たれないようにするためにはどうすればよいか問題となりますが、この点については、今後、消防団との協議をまって決定することになります。

「ふるさと寄席」無事に閉幕！ 一文化部一

昨年度に続きまして玉川大学出身の落語家さんによる第 2 弾「ふるさと寄席」が 2 月 21 日好天に恵まれ、大盛況のうち無事に閉幕することができました。これもひとえに多数ご来場いただきました皆様方の御蔭と感謝申し上げます。演題では、三遊亭日るねさんの「平林(たいらばやし)」の開口一番に始まり、古今亭駒次さんのお馴染み鉄道噺「旅姿浮世駅弁」の後は、真打林家木久蔵師匠による「禁酒番屋」の落語で締めさせていただき、それぞれ独創性のある語り口で熱演をいただきました。また、中入り後に 3 人さんによる玉川大学当時を振り返ってのトークショー、おしまいは木久蔵ラーメン争奪のジャンケン大会など終始お笑いの渦に溢れ、予定時間を超えての終演となりました。



三人のトークショー

(あとがき)

この 1 年を通して文化部行事が無事に実施できました陰には、労を惜しまず協力していただいた町内会の役員・スタッフの下支えによる所が大きかったものと感じて居ります。素人集団ではありますが、お互いが知恵を出し合いながら会場づくりなど手作りで仕上げてくださいましたボランティア活動には、ただただ頭の下がる思いでいっぱいです。

こうした町内会の朋輩の皆さんに感謝の意をお伝えして、今期の文化部活動を終了したいと存じます。

資源回収の報告

一環境部一

2 月の回収は
102.3 トでした
資源ゴミは当日朝の 9 時までに出してください
問合せは町内会事務所
または大興資源
045-929-481 まで

広報部から

いろいろな考え方がある。たとえば樫で机や柱をつくる。コミュニティセンターが新しくなったら、そんな無垢の机で勉強できたら素晴らしいと思う。その机は百年以上も持つのだから。桜の木も木目がきれいで堅くねばりがある。桜もいい家具になる。木目まで気にして家具を作るのは日本人だけだと思う。

南大谷の五十嵐熔接さんの敷地には立派な樫がある。通るたびにながめてしまう。金属を扱う人が木を大切にしているとは面白い組み合わせだ。

千年後の人達のために檜を植えるのもいいと思う。千年後の笑顔が見たい。(前田)

3 月定例幹事会(3/3) 報告

一総務部一

下記の審議事項が承認されました

1. 鎮目会長の入院と今後の町内会運営について
2. 平成 27 年度総会「議事次第」について
3. 平成 26 年度事業報告、平成 27 年度事業計画ならびに予算案について
4. 第 6 地区「成瀬台小学校避難施設開設運営会議」会費について
5. 各地区防災倉庫の備品購入について
6. 「餅つき体験会」(2/14) について
7. 「ふるさと寄席」(2/21) について
8. さくらめぐり、花びら市について

玉ちゃんバスの利用者500万人

玉川学園コミュニティーバス『玉ちゃんバス』は玉川学園前駅を中心とする玉川学園地区の住民の足を確保するため、駅北口を発着する北ルートが、町田市のコミュニティーバス第1号として2005年3月21日に産声を上げました。

北ルートに続いて、2007年3月21日には、東ルートが地域に2つ目の路線として駅南口を起点にスタートしました。

『玉ちゃんバス』は、運行開始から3年を経過した2008年4月10日に、北ルートと東ルートの合計で、乗車人員100万人を達成し、その後も順調に利用者が伸びていましたが、遂に、2014年12月24日クリスマス伊ブを以て、500万人の大台を達成しました。

なお、現在は当初の計画に従って第3番目の、南ルートの運行計画に取り組んでおり、新年度にはその内容をお知らせできると考えています。一層のご愛顧をお願いします。

玉川学園コミュニティーバス推進委員会

2月14日(土)餅つき体験会が開催されました

朝から、コミュニティセンター前の広場で前日から準備しておいた餅米をせいろで蒸し、2つの臼で餅つき開始。今年は餅米も新潟産の「こがね米」という最高級の餅米になりました。当日は城南信用金庫の方が3名かけつけてくださり、精力的についてくださいました。つきあがったお餅は炊事場で待機する女性幹事の手で次々と小さく丸められ、あんこ、きなこ、ごまの3つの味に調理され振る舞われました。また、途中からは消防団第一分団第五部の助けも入り、35kgの餅米があっというまに調理されました。お天気に恵まれたおかげで、町内全域のみならず、隣接地域の方の参加もあり大変にぎわったひとときとなりました。参加者の内訳は玉川学園町内から126名、東玉川学園から7名、その他の地域から16名の149名と町内会幹事21名の総勢170名でした。また、今回初の試みとして、町田市リサイクル公社からリユース食器をレンタルし、ゴミの減量化をはかりました。来てくださった皆さんには受付でリユース食器について告知し、食器の回収やゴミの分別までご協力いただき大変スムーズに回収もできました。紙皿に割り箸を使うことに比べ劇的にゴミは減量されました。リサイクル公社の方からは今後是非、リユース食器の有効利用でゴミ減量化にご協力を、との事でした。大きな事故もなく、無事に終了できましたことをご報告致しますとともに、参加・ご協力いただきました皆様に心よりお礼申し上げます。

青少年部大留由佳子

第6地区の防災講習会が開催されました。

第6地区幹事 服部知行

2月7日(土)午後1時より、「こすもす会館」において第6地区の第4回防災講習会が開催されました。町田消防署 日爪司令補以下4名の職員の方の指導の下「心肺蘇生とAED」、「スタンドパイプ」の訓練が行われました。今回の参加者は、予定の約半分の15名と少なく残念でしたが、一方で全員が全ての訓練を充分体験出来、充実したものとなりました。会場の「こすもす会館」のホールには、第6地区の防災倉庫に備蓄されているライト、ラジオ、コンロ等の機材や日用雑貨、救急医薬品が展示され、また玉川学園地区の「拡大防災マップ」、巨大地震発生時の「地域の被害想定」、「消防・救急体制」、「ライフライン復旧予想」、「火災の延焼シミュレーション」などが張り出され、参加された人々が熱心に見ていました。「心肺蘇生とAED」の訓練では、倒れている人の意識と呼吸の有無の確認から始まり、近くにいる人への「AEDの搬送」と「119番通報」の依頼をした後、心肺蘇生の胸骨圧迫マッサージを行います。胸の中央部をかなりの力を入れてAEDが来るまで1分間に100回のペースでマッサージします。これはかなりの重労働です。AEDが到着すれば、電源を入れた後はAEDの指示に従っていけば大丈夫です。参加者の皆さんは細かい手順や方法を熱心に質問し、消防職員の方から手取り足取りの丁寧な指導を受け、随分上達しました。ただ、時間が経って実際に必要な場面に遭遇した時に、訓練と同じように出来るか分かりません。繰り返し練習する必要があると思いました。

「スタンドパイプ」の取扱訓練は、「こすもす会館」の前の道路上にある消火栓にホースを連結して、すぐ横の児童公園に向けて放水するという訓練です。消火栓の蓋は非常に重く、開けるのが大変です。この後は、二手に分かれて訓練しました。一つは消火栓内にある吐水口にスタンドパイプ本体を取り付け、ホースを連結してスピンドルを使って弁を開いて水を出す訓練です。もう一つは、ホースの先端に放水銃を繋いで放水する訓練です。スタンドパイプの取扱いは比較的簡単ですが、危険も伴うので十分な訓練が必要です。参加された皆さん放水の際の水の圧力の大きさに驚きながらも、真剣にかつ楽しく訓練されていました。

環境部からの報告

1) 玉川学園前駅北口の大ケヤキは生き残ります!

12月9日(火): 道路補修課から電話があり、12月13日(土)12:00~15:00に、2組の樹木医を含む十数名により、「玉川学園前駅北口のケヤキ」の樹木診断を実施するとの連絡がありました。

2月10日(火): 道路補修課で、「玉川学園前駅北口のケヤキ」の樹木医の診断結果に基づき、このケヤキの処理方法を聞きました。そして、「説明会」を開いてくれるとのことでしたので、説明会の日時と内容を、「大櫓を守る会」、「まちづくりの会」、「芝生の会」、「景観を守る会」へ連絡することをお願いしました。町内会員の皆さんのために、この説明会の日時と内容をインターネット上の「玉川学園町内会」のホームページに記載しましたが、種々の事情で、掲載日が「説明会」当日の26日となってしまい、申し訳ありませんでした。

2月26日(木): 午後6時から7時50分まで、さくらんぼホールで「駅前北口のケヤキの枝の伐採」に関する説明会が実施され、道路補修課から課長、係長を含めて3人、樹木医関係者が3人、町内会から22人が参加しました。市役所から、2組の樹木医の診断結果に基づいて、車道側に枝を張っている2本の太い枝は切断すること、歩道側に出ている細い枝だけは保存すること、このケヤキの延命を計るために、土壌改良(現在の土壌は20cm以下が硬すぎて根を張ることができないそうです)を行うことなどが説明されました。次いで、樹木医の方々から、東横線日吉駅の近くの神社にある、中心部が空洞化しているケヤキの老木をどのようにして再生させているかの詳細な説明がありました。

これらの説明後の質疑応答では、多くの参加者が道路補修課のケヤキの処置方法に賛成を表明してくれましたので、今までのこのような説明会とは全く異なる雰囲気の中で、会議を終了することができました。10年ほど前に数千人の町内会員の皆さんが延命のために署名したケヤキは、2本の太い枝を伐採されることによって、見つめるにはあまりにも哀れな姿になってしまうと推察されますが、新しい枝を出して、再度成長していく姿を見つめ続けてやって欲しいと心から願っています。

2) 地域猫の問題について

現在、野良猫を捕まえて町田市の保健所に持って行くと、以前のように安楽死はさせず、猫の保護団体に引き取ってもらっていますが、猫の保護団体も引き取れないほど猫をすでに保持しています。野良猫が悪いのではなく、猫を野良猫にした人間が悪いという考え方が、現在、主流となっており、そこで、野良猫にはきちんと餌をやって一生を見守ってやり、同時に、強制的に去勢・避妊を実施して(市役所が補助金を出しています)、野良猫の繁殖をなくしていきましようという運動が、世界的な流れになってきています。このような猫は「community cat 地域猫」と呼ばれ、地域が面倒を見ることになっています。地域猫に餌をやっていての方々を見かけたら、温かい目で見守って欲しいと思います。長いスパンで見れば、地域猫は次第にいなくなっていくのです。

3) 第3回環境委員会の開催

3月1日(日)午前10時から11時45分まで、環境委員会が開催され、1年間にわたる環境部の仕事のまとめを報告し、検討してもらいました。